

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

目標の内容・実績						
法人名等	施設稼働率	精算納付前経常利益	従業員1人あたり精算納付前経常利益	施設を起因とするイベントの開催に影響を与える重大な事故の発生	たまアリバタウン来場者数	
【法人名】 株式会社さいたまアリーナ	目標	1年間の総日数に対して、メインアリーナ（スタジアム含む）又はコミュニティアリーナのいずれかが、本開催・設営・撤去として利用されている日数の割合 【令和6年度目標】 80% 【令和7年度目標】 67% 【令和8年度目標】 — 【令和9年度目標】 67% 【令和10年度目標】 80%	当社経常利益と埼玉県への精算納付金の合計額 【令和6年度目標】 1,150百万円 【令和7年度目標】 800百万円 【令和8年度目標】 — 【令和9年度目標】 800百万円 【令和10年度目標】 1,200百万円	当社経常利益と埼玉県への精算納付金の合計額を当社職員数で除した額 【令和6年度目標】 2,875万円 【令和7年度目標】 2,000万円 【令和8年度目標】 — 【令和9年度目標】 2,000万円 【令和10年度目標】 3,000万円	施設を起因とするイベントの開催に影響を与える重大な事故の発生件数 【令和6年度目標】 0件 【令和7年度目標】 0件 【令和8年度目標】 0件 【令和9年度目標】 0件 【令和10年度目標】 0件	さいたまスーパーアリーナ、けやきひろば、TOIROの年間来場者数 【令和6年度目標】 730万人 【令和7年度目標】 660万人 【令和8年度目標】 300万人 【令和9年度目標】 660万人 【令和10年度目標】 730万人
【中期経営計画の期間】 令和6年度～令和10年度	各年度の実績	【令和6年度実績】 73.2%	【令和6年度実績】 1,238百万円	【令和6年度実績】 3,094万円	【令和6年度実績】 0件	【令和6年度実績】 732万人
法人による自己評価	5月・7月・10月に予定されていた興行のキャンセルに伴い日程に空きが生じたことなどもあり、稼働率は目標に届かなかつた。 今後の稼働率向上に向けた取組としては、まず顧客のリクエストに応じてスケジュール調整を柔軟に行なうほか、利用日前後の日程追加や隣接会場の連動利用の提案等を積極的に行なう。 また、キャンセル発生時の収益機会損失の低減を目的として、2027年度の料金改定と合わせて、利用料金後金の請求期限を「90日前まで」から「180日前まで」に見直すことで、キャンセル確定の早期化・次案件の獲得に向けた日程の確保を図り、稼働率の向上を図っていく。	首都圏において競合施設が増加しているが、当館の音楽興行の引き合いは引き続き堅調であり、今期は興行のキャンセルなどもあった中、販館収入は計画を上回ることができた。 また、各種手続きの電子化や生成AIの活用など、DX等の推進により従業員の業務効率化・生産性向上に取り組んだ。 その結果、精算納付前経常利益及び従業員1人あたり精算納付前経常利益ともに目標を達成することができた。 今後も物価・労務単価の上昇や競合施設の増加など、外部環境の変化による経営への影響が想定される中、収益確保のためには社会経済情勢を注視しながら、インフレ経済に適切に対応した利用料金の改定など既存事業の収益力向上はもとより、ネーミングライツをはじめとする新たな収益源を開発することで、更なる収益力向上に取り組んでいく。	さいたまスーパーアリーナは、開業から20年超が経過し老朽化は進行しているが、日常点検等での不具合の早期発見と、必要な調査や修繕を的確に行っていれる。 また、イベントの設営や撤去、施設の修繕工事における作業者の安全管理を徹底し、施設を起因とする重大事故の発生はゼロを維持している。 令和6年度は、利用者の意見を踏まえ、アリーナ内の既存の固定席を取り外し可能とし、車椅子対応席に転換できる整備を前年度に引き続き実施したほか、けやきひろばのベンチを移動可能な運用とし、ベンチ移動跡の設えを整えるなどの整備を行った。	国内屈指の大規模多目的イベント施設として、話題性・メディア露出度の高い音楽、スポーツ、展示会など魅力あるイベントを多数提供等することで、多くのお客様をお迎えし、さいたま新都心のにぎわいを創出することができた。 その結果、さいたまスーパーアリーナの来場者数は、約313万人となった。 けやきひろばのにぎわい創出の面では、春のビール祭り、夏の水かけまつり、冬のクリスマスマーケットなど、季節ごとバラエティーに富んだ自主企画事業を展開することで、約414万人の来場者数となった。 TOIROは、既存顧客に対する積極的な利用提案のほか、アリーナイベントに連動した展示会利用などを働きかけたことなどにより、約5万人の来場者数となった。		